

年末の年越しと正月(雑感)

東京支局 (故:鶴木清二)いとこ 魚野 由清

明けましておめでとうございます。

昨年11月に、後期高齢者となり、長年お世話になったT社の健康保険組合から国民健康保険に移りました。気になったので後期高齢者があるなら、前期高齢者もあるだろうと、インターネットで調べて見ました。65歳以上75歳未満の方を「前期高齢者」といい、75歳以上の方を『後期高齢者』と言うそうです。

誰が区別したのか知りませんが、後期高齢者では、もう後編なんだなあと思う毎日です。まあ、こんな事を気にしていたのでは体に良くないので、今まで通りの生活を送りたいと考えていますが、世間から見ると爺さん扱いになっているらしく、後期高齢者になるとボランティア活動の選択も少なくなり、あまり無理しないで下さいとの事。

先日、虫歯の治療で歯医者に行きました。前歯なので保険適用より自費治療にした方が長持ちするとの事。寿命を考えた場合どちらが良いだろうと質問したら、まだ、元気そうなので長持ちする治療をお勧めしますとの事。

そうか・・・長生きする事を前提に自費治療にしましたが結果はどうなる事やら。

久しぶりに学生時代の同級生から電話があり、元気か、会いたいね・・・病気で暫く治療していたらしく元気になり、昔の仲間に急に会いたくなった様子。今年に宴会を約束したがお互いに元気でいたいものです。

昭和の学生時代ですが、私の実家は青果物店(八百屋)で、スーパーマーケットなどが無かった当時の商店街は大繁盛で年末は家族総出で食事もとれないくらい大忙しでした。

クレジットカードも普及していない時代でしたので、すべて現金による対面販売です。お釣りの計算などすべて暗算処理です。間違いもあったと思います。

特に、12/31の年越しは18時頃になると、通行人もいなくなりお店を閉めます。その後、家では最高のごちそうを食べながら紅白歌合戦を見て、ゆく年くる年の除夜の鐘を聞いて新年を迎えます。当時、唯一の娯楽はテレビでした。視聴率は、なんと80%を越えていた様です。

慌ただしい大晦日から一夜明けるとお正月の三が日です。毎年、不思議なくらい新鮮な気持ちになります。

新年早々、まとまりのない話になりましたが、「久仁京介をかこむ会」

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

